

第 32 回練馬区新人演奏会出演者インタビュー

【金管楽器部門最優秀賞】 森田小百合(もりたさゆり)さん



今年の 5 月 27 日、6 月 24 日に行われた第 32 回練馬区新人演奏会出演者選考オーディションで金管楽器部門最優秀賞を受賞した森田小百合さんにトランペットとの出会いから練馬区新人演奏会等についてお聞きしました。

森田さんは現在、東京藝術大学別科 2 年生に在籍しています。

ートランペットを始めたきっかけは？

小学校 4 年生の時、吹奏楽部に入りました。楽器を選ぶ時にいろんな楽器を試奏したのですが、トランペットのマウスピースの音がすぐ出たのでトランペットにしよう決めました。

ートランペットの魅力ってなんですか？

音が華やかでキラキラしているところが最大の魅力だと思います。ホールいっぱい自分の音が響くととても気持ちが良いです。

ーでは、今回のインタビューのメインに入ります。第 32 回練馬区新人演奏会出演者選考オーディションを受けるきっかけは？

大学でこのオーディションの案内を目にし、応募しました。

ー今年は、応募資格を区外の方へ広げて初めての金管楽器部門のオーディションでした。参加者人数も過去最多 55 名の中で、その頂点に輝いたのが森田さんです。オーディションに参加された感想は？

一次審査の課題曲(アルテュール・オネゲル/イントラダ)は、高度な技術を要求される曲でとても緊張しました。

二次審査の課題曲(アンリ・トマジ/トランペット協奏曲)は、過去に受けたコンクールの課題曲で、失敗した苦い思い出のある曲でした。今回はきちんと暗譜し、リベンジの気持ちで臨みました。結果栄誉ある賞をいただき、光栄に思います。

—第 32 回新人演奏会の演奏曲にフンメル「トランペット協奏曲ホ長調」を選ばれています。この曲を選んだ理由は？

この曲は高校生の頃からとても好きな曲で、オーケストラと協演するならこの曲がいいなと考えていました。今回は原曲どおりホ長調で演奏するので、E 管トランペットを使用します。

—第 32 回新人演奏会への意気込みを教えてください。

雑念を捨て、音楽に入り込んで演奏できるよう頑張ります。

—今回の演奏会では、練馬区内の小中学生とその保護者を抽選でご招待しています。小中学生が会場にいることで、思うことはありますか？

演奏会に来て良かった、楽しかったと思ってもらえる演奏をしたいです。トランペットってこんな音がするんだ、また聴きたいな、吹いてみたいなと思ってもらえたら嬉しいです。

—質問がちょっと変わりますが、演奏会が終わった後、自分にご褒美をあげるとしたら、どんなご褒美ですか？

おいしいごはんが食べたいです。

—今回練馬区の新人演奏会ということで、「練馬」と聞いて思い浮べるものを教えてください。

練馬文化センターです。演奏会の練習などで、リハーサル室を利用したことがあります。

—最後に、今回のインタビューをご覧になった方へのメッセージをお願いします。

演奏会、ぜひご来場ください。会場でお会いできることを楽しみにしています。

<インタビューを終えて>

インタビューの間、始終笑顔でお話しいただきました。特にトランペットの好きなところの話になると表情がさらに楽しげにお話されたのが印象的でした。小柄でやさしい雰囲気の中に芯の強さを感じる素敵な方でした。